

# 第2宇宙作戦群 新編

ほ  
う  
ぶ  
北

令和8年春号  
第518号



去る3月30日(月)航空自衛隊防府北基地において、第2宇宙作戦群新編行事が実施されました。本行事は、宇宙作戦団司令 石井空将補が執行し、厳粛な雰囲気の中、第2宇宙作戦群司令 望月1佐へ隊旗を授与し、式辞とともに団司令の「宇宙作戦団 いくぞー!!」の掛け声に対し、隊員一同が「おう!!」と呼応する形で締めくくられ、隊員の一体感が形成される行事となりました。

また、航空幕僚副長 門間空将をはじめ、防府北基地司令 宮崎1佐、防府南基地司令 山脇1佐、陸上自衛隊防府分屯地司令 小林2陸佐及び防府北基地に所在する各部隊長を来賓としてご臨席頂くとともに、門間副長から「宇宙防衛の最前線に立つ存在として高い志を持ち、部隊を発展させていくことを期待する。」旨の訓示を賜りました。

令和2年度に当初約20名で府中に新編された宇宙作戦隊は、段階的に体制を拡充し、今回、宇宙領域把握に関する能力をさらに拡大するために約670名の宇宙作戦団を新編し、防府北基地に第2宇宙作戦群が誕生しました。

第2宇宙作戦群は、我が国を取り巻く安全保障環境が一段と厳しさを増す中、防府北基地、防府南基地の各部隊や地域の方の理解と協力をいただきながら、今後も宇宙領域における防衛力強化を着実に推し進め、宇宙空間の安定的利用に寄与していく所存です。



第2宇宙作戦群  
2nd Space Operations Group



第2宇宙作戦隊  
2nd Space Operations Squadron



第4宇宙作戦隊  
4th Space Operations Squadron



第2宇宙システム管理隊  
2nd Space Systems Squadron



# 第80期航空学生卒業式



第12飛行教育団は令和8年3月19日（木）に第80期航空学生課程の卒業式を執り行った。

式典には来賓として防府市副市长、防府地区自衛隊協力会副会長や県選出国会議員代理のご臨席を賜るとともに、航空幕僚長代理航空幕僚監部人事教育部長、航空教育集団司令官代理航空教育集団司令部教育部長を始め、近隣部隊長及び卒業生のご父兄等、大勢のご臨席の下、盛大に行うことができた。

式では、団司令の式辞において、「航空学生としての誇りを胸に諸官が他では代替できない崇高な任務に就き、強く、逞しく、そして誇り高いパイロットへと成長することを心から期待している。」との言葉があり卒業生を激励した。

式典後は、未明まで降っていた雨が嘘のように時間を追って青空となり、航空学生課程出身パイロットの操縦する各種航空機の祝賀飛行や、後輩である第81期航空学生の初のお披露目となるファンシードリル展示、ご来賓ご家族交えての祝賀会食まで、すべての行事を滞りなく行うことができた。

航空学生教育群本部  
教育主任 長3佐



# 第82期航空学生入隊式



春の陽光が厚い雲で隠れる雨模様の中、4月10日（金）に「第82期航空学生入隊式」が厳粛に執り行われました。

式典では、航空教育集団司令部幕僚長や航空幕僚監部人事教育部長をはじめ、部内外から多くのご来賓のご臨席を賜り、凜とした空気の中、全国から集まった69名の若き精鋭たちが航空学生課程の履修を命ぜられました。入隊学生一人ひとりの名前が呼ばれると体育館には割れんばかりの力強い返事が響き渡り、空の護り手としての覚悟が列席したご家族や関係者の胸を熱くさせました。

当日はあいにくの天候により、予定されていた祝賀飛行（飛行展示）は惜しくも中止となりました。しかし、その沈滞した空気を吹き飛ばしたのは、先輩期である第81期生によるファンシードリルの展示でした。一糸乱れぬ動きと銃を操る鋭い音が会場を圧倒し、言葉ではなく背中を語る先輩たちの姿は、「これから共に厳しい訓練を乗り越え頑張っていこう！」という無言の、かつ、力強いエールとして新入生達の目に焼き付いたことでしょう。

式典後の祝賀会食は、防府地区自衛隊協力会との共催により、温かな雰囲気の中で行われました。先輩から激励を受け、地域の皆様からの力強い支援を再認識した学生達は、これから始まる厳しい教育課程への決意を新たにしました。第82期航空学生は、ここ防府の地で基礎を固め、日本の空の護りを担う戦闘操縦者への険しくも輝かしい道を今まさにスタートさせました。若き翼たちの今後の成長に大きな期待が寄せられています。

航空学生教育群司令

# 第12飛行教育団副司令に 川島 巖(いわお)1佐が着任

令和8年4月1日付で、川島1佐が第12飛行教育団副司令に着任しました。

着任行事において川島1佐は「本基地の特色としてそれぞれの部隊が高い専門性を有し、将来に向けた準備をしている部隊と認識しています。自衛隊勤務においては管制、教育、総務の業務を主に行っていました。過去にとらわれず皆の意見を聞いて前向きに業務に邁進する所存です。これから一緒に働くことを楽しみにしていますので、よろしくお願ひします。」と述べられました。

なお、前任の高梨1佐は、4月1日付で情報本部 総務部長にご栄転されました。

渉外室



- 出身 千葉県
- 防大 39期
- 略歴
- ・航空幕僚監部人事教育部教育課一般教育班長
- ・第1航空団基地業務群司令
- ・中部航空方面隊司令部総務部長
- ・航空幕僚監部総務部総務課情報公開・個人情報保護室長

## はたち 20歳の集い



防府北基地は、令和8年1月23日(金)防府南基地、防府分屯地との共催による「令和8年自衛隊防府地区二十歳の集い」を行い、ご来賓として防府市長をはじめ各協力団体等の方々のご臨席のもと、令和7年度に二十歳を迎える99名の隊員をお祝ひしました。

祝賀会では、防府市長から「これからの人生において、思い描いた心象が見えなくなることもあると思います。その時、決して諦めずに皆様が蓄えた経験と柔軟な発想を活かし、自らの航路を切り開いてほしい。」との激励のお言葉を賜りました。

続けて防府地区自衛隊協力会会長より記念品が贈られ、代表隊員の第80期航空学生中津士長が「支えてくださった方々に感謝し、自立した大人として、社会や国に貢献して参ります。」と同じく第13飛行隊谷内士長は「育ててくれた両親、先生、先輩、友人たちへの感謝を忘れず自衛官として、社会人として、日本人として成長できるように日々努力して参ります。」と誓いの言葉を述べました。

和やかに行われた祝賀会は、航空自衛隊防府OB会会長による万歳三唱で御開きとなりました。

渉外室

## 方向舵



### 「情報は命」「隊員は宝」～確かな気象情報で次世代の翼を支える

防府北(ホームページ) 新聞を御覧の皆様、こんにちは。

防府北基地は、航空自衛隊の将来を担うパイロットが初めて操縦桿を握り、不安と葛藤の中、大空へと挑む「操縦士養成の聖地」です。我々、気象隊は地上から彼らの初陣を支える「情報の尖兵」として日々、最新の気象情報を提供しています。私は気象隊長として以下の二つを念頭に防府気象隊の舵を握っています。

第一に「情報は命」です。初めて空に挑む学生達にとって、気象の変化は時に致命的な脅威になります。防府は瀬戸内気候に位置しており、温暖な日が多く、晴れた日は海風が気持ち良く感じます。しかし、その爽やかな風でさえ、学生達にとっては、離発着のパターン変更を余儀なくされ、心理的にも精神的にも大きな負担を感じるのです。そのため、私たちが提供する情報は単なるデータではなく、学生達の命に直結する判断材料のひとつだと深く認識しています。

第二に、「隊員は宝」です。提供する気象情報となる気象観測及び予報は最新の機材があれば完結するものではありません。刻々と変化する空の動向と数ある数値資料を分析、判断し、「価値ある情報」へと昇華させるのは、隊員の高度な専門知識と技能です。これらを習得するのに費やされた膨大な時間と教育の結晶であり、一朝一夕には成しえない研鑽こそが、気象隊の真の戦力であり、最大の財産です。

我々が提供する命に直結する気象情報、そしてそれを取り扱う気象隊員の何ものにも代えられないその存在を大切にこれからも防府の空の守り手の一人として職務に邁進してまいります。これからも防府北基地及び当気象隊への御理解と御支援宜しくお願ひ致します。

防府気象隊長 大田 3 佐



# 隊員お勧めの店

こんにちは。12教団副官付の真鍋3曹です。

今回は県内の観光スポットや穴場、飲食店というところで、私の地元、山口県山陽小野田市の殖生（はぶ）にある「みちしお」について紹介したいと思います。

「みちしお」は昭和40年に創業し、今ではメディアなどテレビでも紹介されるほど有名な場所になりました。名物はなんと「貝汁」ではないでしょうか！

「みちしお」は「みちしお」は貝汁だけじゃないんです。貝汁以外にもたくさりのメニューがあり、ボリュームもあってこの値段です。か？という感じの食事処です。

私も先日、知り合い3人と行ってきました。最後の締めで貝汁をたべようとして計画したが、最初にカツ丼を食べた（これも結構な量があり）、そのあととも知り合いが頼んだ焼きそばもつまみ、気が付けばお腹がいっぱいでその時は貝汁を食べられませんでした。



喜んでました（笑）次、行く際は絶対に食べようとおもいました。

また、食事処の他にも天然温泉もあるので、ゆっくり胃も心も「みちしお」で満たしてみませんか？

みなさん！下関方面に行かれる、もしくは近くを通るかもという際は、「みちしお」に寄ってみてください！

司令部副官付（記事提供時）  
真鍋3曹



組織にとつて一番の異動時期となる3月に航空学生教育群も新たな仲間を迎えることとなった。中でも航空学生の間で早くもその強烈なキャラクターがある航空学生教育群本部の教務班長 太田1尉を紹介しよう。

家のある防府への勤務を熱望した結果、航空学生入隊試験の合格率を上回る厳しい競争を勝ち抜きこの度航空学生教育群本部へ配置となり、やる気にみなぎる人物で年齢は40代スリーサイズは秘密。ただし、足サイズは26cm、3km計測のベストタイムは9分、秒と学生教育を担当する部隊への配置が最も好ましい隊員の一人です。空曹の頃、基地内制限速度で走る当直幹部Aの車両を追い抜いた結果、周囲に

も「いくらなんでもそれはないよ。」と信じてもらえず、幹部Aに嘘つきのレッテルを張り付けたとんでもない男です。業務に慣れてくれば今度は防府北基地内を制限速度違反で走る隊員を見かけることとなりますので、通行の際はご注意ください。

余談ですが、彼は相当のゲラのようであり、航空群本部は彼の笑い声だけが聞こえていくと、かいたいとかい。航空学生教育群本部 教育主任 長3佐

## 隊員紹介

### WORKPLACE INTRODUCTION

#### 航空学生教育群 学生隊

防府北基地新聞をご覧のみなさん、こんにちは。今回は、基地でも盛んに行われており、防府管制隊でも例にもれずブームとなっている、「モルック」について紹介したいと思います。この場を借りて新規プレイヤーを増やしたいため、簡単にルールやポイントを説明します。モルックはフィンランド生まれのスポーツで、数字が書かれた木製のピン（スキットル）に同じく木製の棒（モルック）を投げて倒す競技です。1本だけ倒した場合はその倒したピンに書いてある数字が、複数本倒したらその本数が得点となり、合計50点を目指します。また、50点を超えてしまうと25点になってしまい、ゴールが遠のいてしまいます。若干ボウリングと似た要素がありますが、大きな違いの一つとして、倒れたピンはその場で立て直される、という特徴があります。ターンを増すごとに戦略性や技術が求められるのです。



## 小集団活動



防府管制隊では、隊長以下17名を3チームに分けて大会を行いました。初めて競技を行う隊員が数人いましたが、すぐに慣れ競技に熱中してました。次第に慣れてくると、中には技ありの投げ方をする隊員もおり、和気あいあいと班や階級の垣根を越えて団結することができました。世界大会が日本で開催されたこともあるそうで、防府管制隊チームで世界大会を目指して奮闘していきたいと思えます！みなさんもぜひモルックを初めてみてはいかがでしょう？皆さんの挑戦、待ってます！

防府管制隊 魚本3曹

